

10月 OCTOBER

- 16日 2010全国エイサー大会
17日 2010全国エイサー大会 創作エイサーコンテスト&ファイナル
18日 飲酒運転根絶県民大会
19日 表敬 (社)沖縄県軍用地等地主会連合会 会長 浜比嘉勇氏
20日 第47回沖縄県老人クラブ大会
平成22年度沖縄県産業安全衛生大会
沖縄科学技術大学院大学視察
21日 平成22年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式
第1回おきぎん美ら島高談会開会式レセプション
第34回沖縄の産業まつり
22日 表敬 琉球の祭典2010イベント「琉球の宴」実行委員長
第63回九州弁護士会連合会定期大会
全国男女共同参画フォーラム2010
2010年度日本青年会議所・沖縄地区協議会「総括発信2010」
24日 琉球の祭典2010イベント「琉球の宴」
25日 東京出張(～26日)
26日 東京出張
27日 奄美地方における集中豪雨被害に対する知事見舞金の贈呈
28日 要請 おきなわ小児肺炎球菌〇プロジェクト委員会
平成23年度 那覇商工会議所臨時議員総会・懇親会
第58回精神保健福祉全国大会
29日 要請 沖縄市長 東門美津子氏
APEC電気通信・情報産業担当大臣会合沖縄県知事主催歓迎レセプション
30日 APEC電気通信・情報産業担当大臣会合大臣主催歓迎レセプション
31日 真地久茂地線および国道329号南風原バイパス道路開通式

11月 NOVEMBER

- 表敬 APEC事務局長 ムハマド・ヌール・ヤコブ氏
1日 表敬 社団法人沖縄県専修学校各種学校協会会長島袋永伸氏
泡盛鑑評会感謝の宴
2日 平成22年沖縄県殉職警察職員慰霊祭
3日 平成22年度沖縄県功労者表彰式式典・祝賀会
4日 那覇港管理組合議会(11月定例会)
5日 平成22年秋の叙勲伝達式
豊見城中央病院開院30周年記念式典・祝賀会
6日 千葉県国民体育大会表彰式および慰労・祝賀会
7日 東京出張(～8日)
ちゅらプロジェクト第2回特別公演会
8日 表敬 自由民主党沖縄振興特別委員会委員長 川口順子氏
千葉県国民体育大会表彰式及び慰労・祝賀会
10日 第32回九州ブロック専門学校体育大会沖縄大会総合開会式
13日 沖縄県婦人連合会第60回婦人大会
14日 第94回秋の全島闘牛大会



10月・11月の動き

県政フラッシュ

10/29

APEC電気通信・情報産業担当大臣会合知事主催歓迎レセプション



参加者を出迎える仲井眞知事

10月30日、31日に名護市の万国津梁館で開催されたアジア太平洋経済協力会議(APEC)電気通信・情報産業担当大臣会合を前に沖縄県知事主催の歓迎レセプションが恩納村内のホテルで開かれた。

会合に出席する各国の代表者や関係者など約200人の出席者を前に仲井眞知事は、「通信ネットワークのグローバル化と情報の技術革新は、沖縄に大きな恩恵をもたらしている。本会合が実り多きものとなるよう期待している」とあいさつ。

歓迎レセプションでは大臣らがかりゆしウェアで出席し、県産食材を使った料理が振る舞われたほか、「過去と現代をつなぐ、古きをたずね新しきを創る＝温故創新」をメインコンセプトに、各地域に伝わる民族芸能やエイサー、伝統的な舞踊と現代のダンスパフォーマンスを融合。平田大一人演出で、県内の中・高生総勢約50人による華麗で勇壮な演舞が披露された。

10/16・17

「全国エイサー大会」初開催!



コンテスト受賞団体に表彰状を手渡す仲井眞知事

「2010全国エイサー大会」が10月16日、17日の両日開催され、多くのエイサーファンがさまざまなエイサー演舞を楽しんだ。17日の「創作エイサーコンテスト」では県内外から21団体が参加し、グランプリには「琉球舞団昇龍祭太鼓」(東京都)が選ばれた。

16日のオープニングセレモニー、17日のコンテスト表彰式に登壇した仲井眞知事は、参加したエイサー団体を激励した。

16日は「島廻り(シママーイ)」と銘打ち、県内5会場で県内青年会とコンテスト出場団体が演舞を披露、同日の夜には「前夜祭」なども行われた。

また17日の大会のファイナーレでは、コンテスト上位団体と県内青年会が演舞を披露し、盛大に大会の締めを飾った。

11/5

平成22年秋の叙勲・褒章伝達式 受章者14人に伝達



平成22年秋の叙勲受章者と仲井眞知事

平成22年秋の叙勲伝達式が那覇市の知事公舎で行われ、仲井眞知事から地方自治、生活衛生、業務精励の各分野における功績を認められた受章者14人に勲記と勲章および褒記と褒章を伝達した。

仲井眞知事は「各分野の第一線にあって、永年にわたり業務に精励され、沖縄県の発展に多大の貢献をされた皆様に対し、県民を代表しお礼申し上げます」と述べ、受賞者の功績を称えた。

地方自治功労で瑞宝小綬章を受章した元沖縄県総務部知事公室長國吉眞暢氏が受賞者を代表し、「多くの先輩方のご指導、ご鞭撻、関係各位の温かい励ましとご努力の賜物であり、改めて皆さまにお礼と感謝を申し上げます」と謝辞を述べた。

事公室長國吉眞暢氏が受賞者を代表し、「多くの先輩方のご指導、ご鞭撻、関係各位の温かい励ましとご努力の賜物であり、改めて皆さまにお礼と感謝を申し上げます」と謝辞を述べた。

10/22

第34回沖縄の産業まつり開幕!



会場を視察する仲井眞知事

10月22日から24日までの3日間、那覇市の奥武山公園および県立武道館で、「美ら島の元気の源 県産品」をキャッチフレーズに「第34回沖縄の産業まつり」が開催された。開場式で仲井眞知事は「県産品の販路拡大に引き続き取り組んでいきたい」とあいさつした。

沖縄の産業まつりは県内最大の総合産業イベントとして定着するとともに、近年では県内外業者との商談の場としても認知され、

多くのバイヤーも訪れている。

今回は約470の企業や団体が出展し、来場者は過去最多の23万5000人へのぼり、展示即売コーナーでは、製造者や販売者と声を交わし、楽しみながら品定めをする来場者の熱気であふれていた。

- 2 県政フラッシュ
4 特集1 合い言葉はみんなでグッジョブ!!
6 特集2 社員の笑顔のためにできること ～ワーク・ライフ・バランスの取り組み～
8 特集3 アジアへ、そしてアジアから ～沖縄県海外事務所の取り組み～
10 比べてわかるみんなのシゴト白書 音楽に携わるシゴト
12 県のうごき1 平成22年度沖縄県功労者表彰式
13 県のうごき2 「飲酒運転をしない させない 許さない」 ～「沖縄県飲酒運転根絶条例」施行1周年～
14 情報ひろば お知らせ
16 つながる広がる人・モノ・文化 地域物語 NPO法人おおきみまるごとツーリズム協会

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

\*

沖縄県広報雑誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみなさまにお伝えする冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用する施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗で無料配布しています。

本号とバックナンバーは県広報課ホームページでご覧になれます。

沖縄県知事公室広報課 TEL.098-866-2020 http://www.pref.okinawa.jp/churahome/

沖縄の人口世帯の動き

平成22年10月1日現在



人口 139万3,544人 ※前月比978人増
世帯 53万5,180世帯 ※前月比714世帯増



# 合い言葉はみんながグッジョブ!!

**みんながグッジョブ運動とは**  
 沖縄県の完全失業率を全国並みに改善するため、企業、学校、家庭・地域社会、マスメディア、行政機関など沖縄県内のあらゆる人々が一緒に考え、一丸となって取り組んでいく県民運動です。

## I みんなでグッジョブ運動

推進月間(七月)の取り組み



「みんながグッジョブ！」

## みんながグッジョブ運動推進大会

今年度の推進大会では、県民参加型の大会作りをめざして、今年度運動スローガン、グッジョブ川柳グッジョブこぼれ話の一般公募を行いました。  
 七月二十日、国立劇場おきなわで開催した推進大会で、平成二十二年度運動スローガン「グッジョブで見つけるあなたの明るい未来を盛大に発表するとともに、来場者の投票によりグッジョブ川柳大賞、こぼれ話大賞を決定しました。また、大会では立教大学大学院の小島貴子准教授による「働く」を地域、学校、家庭で育てる」と題する講演を行いました。  
 「この運動が効果的に広まっていけば良い雇用環境を作り出すことができると思います。期待しています。」小島先生の講演とても良かったです。家に帰って子供達に話したいと思えます。参加者から好評を博しました。



小島貴子准教授

**III 関係機関・部局連携**  
**セタでグッジョブ!!**  
 「グッジョブ」を通して子どもたち自身の就業意識の芽生えを応援するイベント「セタでグッジョブ!!」を、七月四日、国際通りテンプス館前で開催しました。那覇市内の小学校の子どもたちに将来になりたい職業などの願いを短冊に書いてもらい、みんなの願いをたくさんの笹に飾り付け、展示しました。  
 併せて、テンプス館内の「島人ぬ玉ブラザ」に協力し、小学生の店員体験を行いました。



「将来なりたいお仕事をお願いしたよ」



「お買い上げありがとうございます」

## 関係機関と連携してのパネル展



県立図書館では、今年度のグッジョブ表彰、推進大会の様子やグッジョブ川柳入選作55選を紹介



就農サポート講座

## 農でグッジョブ

今年度から、農林水産部では、新規就農を促進するための情報提供や技術習得講座などを実施する「農でグッジョブ」事業を実施しています。みんながグッジョブ運動と連携しながら、各関係機関が主体的にその機能を最大限発揮し、農業担い手の育成・確保および雇用拡大について取り組んでいきます。



ゆいレール県庁前駅では、ゆいレールで実施した、垣花小グッジョブシャドウイングの取り組みを紹介

## IV ジョブシャドウイング

ジョブシャドウイングは、キャリア教育の新しい手法で、働く大人に影のように寄り添って観察し、その働く姿勢から生徒達が仕事の楽しさ、働くことの意味、職種に関する知識を身につけることで、社会の仕組みへの理解を深め、将来の夢や進路を考えるきっかけ作りを行います。  
 各地域の事情に合わせた展開を行うため、学校、地域、企業、行政などにより地域単位の会議を持つなど、各地域が取り組みやすい仕組み作りをめざしています。



身近な場所でジョブシャドウ

影のように観察します

働く大人を見てみよう

ジョブシャドウイングキャラクター「シャドウくん」

地域が一体となり取り組みます

## グッジョブ川柳優秀作

- 大賞**  
 ・若千名 千人募集と 勘違い  
**優秀賞**  
 ・失敗もとても大事な栄養素  
 ・温暖化 雇用の冷え込み あたためず  
 ・良くやった！ その一言がうれしくて  
 ・ぼくのゆめ いっぱいあって きまるとかな  
 ・社長席 そっと腰掛け 夢描く

## グッジョブ表彰



受賞6社：(株)お菓子のボルシェ、(株)かりゆし、那覇銅材(株)、(株)日進、(有)やんばるライフ、(株)りゅうせき

七月十二日、みんながグッジョブ運動推進功労者表彰式が行われ、みんながグッジョブ運動推進本部長の仲井眞知事から受賞六社へ表彰状が授与されました。  
 仲井眞知事は、「皆さんの優れた取り組みが県内の企業に広がって、さらなる雇用情勢の改善につながることを期待したい」とあいさつしました。

## II 人材育成

### 沖縄まんが物語

若年者を中心に三十人を雇用し、マンガ制作を通して、マンガ人材の育成と沖縄の歴史・文化・産業・工芸・特産・スポーツ・人物などをマンガでわかりやすく紹介中。「沖縄まんが物語」を検索！



「沖縄まんが物語」イメージキャラクター・チムニー

## 映像産業人材育成プロジェクト

成長分野として期待され、若年者を中心とする人材需要が高い「映像産業」関連分野において、三十一人を雇用したうえで、地域実情に応じた人材を育成するためのOFF-JT(講義など)およびOJT(職場実習など)を行っています。  
 成長分野として期待され、若年者を中心とする人材需要が高い「映像産業」関連分野において、三十一人を雇用したうえで、地域実情に応じた人材を育成するためのOFF-JT(講義など)およびOJT(職場実習など)を行っています。



OFF-JT(アニメーション実践(特殊メイク))

⇒参加者のコメント  
 「プロの意見や目線を間近で感じることで物の見方が変わった。これからの人生に生かしていきたい」

**V 『かりゆし58の働く』とは愛である**  
 大人気バンドかりゆし58のボーカル前川眞悟さんがメインキャストとして登場！  
 地域で活躍している方々を紹介し、彼らを身近に感じてもらう、働くことについて前向きに考えてもらうという番組です。

琉球放送テレビ 毎月第3水曜日 午後7:00~7:54

みんながグッジョブ運動ホームページ <http://www.goodjob-okinawa.info/>

お問い合わせ 県産業政策課雇用創出戦略スタッフ TEL:098-866-2324 FAX:098-866-2440



沖縄国際アジア音楽祭 平成23年3月18日~20日開催!



沖縄国際アジア音楽祭 平成23年3月18日~20日開催!

# 社員の笑顔のためにできること

## ワーク・ライフ・バランスの取り組み

「子育てと仕事の両立が難しい」「仕事が忙しくて家族と過ごす時間がない」など、働く人たちにとって、仕事と生活の両立は常に切実な問題です。そんな中、従業員の人生の充実をめざし、社員の笑顔のために「がんばる企業があります」。



### 働く人とワーク・ライフ・バランス

仕事は、暮らしを支え、人生に生きがいや喜びをもたらします。それと同時に、家族との時間、地域社会との交流などの生活も、暮らしには欠かせない大切なものなのです。仕事と生活の両方の充実があってこそ、人生の生きがい、喜びは倍増します。

### 会社とワーク・ライフ・バランス

ワーク・ライフ・バランスは、働く人たちの生活を豊かに

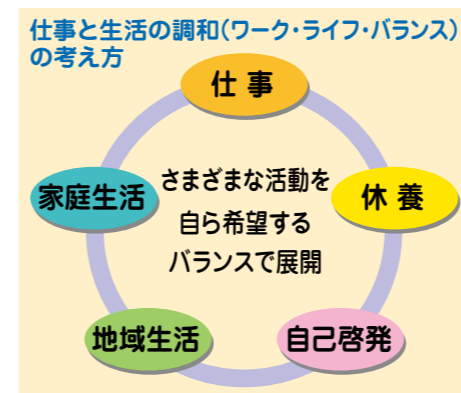
### 県の取り組み

にすると同時に、企業にもさまざまなメリットをもたらします。仕事も生活も両方が増えている今日においては、ワーク・ライフ・バランスの取り組みは人材確保のため大きなアピールになります。また、社員がワーク・ライフ・バランスを実現しようとするためには、業務時間のロスを見直すことが必要となるため、効率的な業務の進め方や人事労務管理を工夫するきっかけとなります。

県は、ワーク・ライフ・バランスを推進するため、社員の仕事と生活の調和の実現を積極的に支援する企業を「ワーク・ライフ・バランス企



業」として認証・登録する制度を創設しました。現在、ワーク・ライフ・バランス企業として県の認証を受けている企業は二十社で、それぞれ女性社員の育児休業取得率が九十%以上、有給休暇の取得を促進するなど、働きやすい職場環境づくりに努力しています。



## 沖縄県ワーク・ライフ・バランス認証企業の取り組みのご紹介

ここでは、今年の二月に県の認証を受けたオリックス・コールセンター株式会社の取り組みをご紹介します。

### オリックス・コールセンター株式会社の取り組み

オリックス・コールセンター株式会社は、従業員数は四百三十一人(二〇一〇年九月現在)。なかでも女性が多く、その半分は家庭をもっています。会社設立当初から、多様な人材を活用する方針があり、家庭をもつ女性が働きやすい制度の導入にも力を入れてきました。育児休業期間中の一部の有給制度、短時間勤務制度の小学校始期までの延長、復職支援のため休業中の社員向けに近況報告会の開催や書面での情報提供を行うなど、育児休業を取得しやすい職場環境を整備され、女性の育児休業取得率は一〇〇%を誇っています。

また、介護休業中の社員への経済的な支援や、親と子がふれあう交流の場として社員の働く姿を実際に見ることができる「ファミリーオープンハウスデー」(家族参観日)を年に一回実施するな



ファミリーオープンハウスデーの様子

ど、さまざまな両立支援に取り組んでいます。

### ワーク・ライフ・バランスに

取り組むメリット

オペレーターには専門的な知識の習得が求められます。そのためには一定期間の継続的な勤務が必要となり、社員にはライフイベントと仕事のバランスを取りながら、長く勤務してもらうこと

が不可欠です。会社として積極的にワーク・ライフ・バランスに取り組むことで、社員が両立支援制度を利用しやすい風土ができ、長期雇用が実現していることがなによりメリットです。

### 従業員の声

育児休業中に開催される近況報告会に参加することで、「復職前の心構えができた」「同じ休職中の仲間がいることで安心できた」「休職中の会社の変化を知ることが、復職が楽しみになった」「久しぶりに同僚に会い、早く仕事に戻りたくなった」との嬉しい感想をいただきました。

### ワーク・ライフ・バランス企業認証取得のメリット

認証をいただいたことは、当社の導入した制度はもとより、社員や現場の理解、沖縄の人々に根付くゆいまいの精神が一助となっていると感じます。グループ会社にもこのような風土を発信できたことが喜ばしいです。また、当社の特性を沖縄県として認証いただいたことで、雇用の幅が広がり、有能な人材の確保につながっています。

## ～平成22年度沖縄県ワーク・ライフ・バランス認証企業のご紹介～

<p>第17号 大和リース株式会社 沖縄営業所 代表者 所長 小林義徳 所在地 那覇市おもろまち4-19-30</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児休業は理由を問わず3歳まで取得可能</li> <li>・ボランティア休暇制度を創設し、社員の社会貢献活動を支援している</li> </ul>	<p>第19号 株式会社 琉球ネットワークサービス 代表者 代表取締役 渡慶次賀雄 所在地 那覇市久米2-14-16 三井生命那覇ビル8F</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の育児休業取得率100%</li> <li>・小学校就学の始期に達する子を養育する社員も育児短時間勤務制度の対象</li> </ul>
<p>第18号 株式会社 りゅうせき 代表者 代表取締役 金城克也 所在地 浦添市西洲2-2-3</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフ・キャリア相談(カウンセラー)の設置</li> <li>・介護休暇取得可能期間通算365日</li> </ul>	<p>第20号 株式会社 金秀本社 代表者 代表取締役社長 喜友名朝春 所在地 那覇市旭町112-1</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の育児休業取得率100%</li> <li>・ノー残業デーの推進</li> </ul>

お問い合わせ ● 県雇用労政課 TEL:098-866-2366 FAX:098-866-2355



沖縄国際アジア音楽祭 平成23年3月18日～20日開催!



沖縄国際アジア音楽祭 平成23年3月18日～20日開催!



香港事務所メンバー



各社ごって沖縄旅行商品を販売中！(香港)

香港事務所は平成七年に設置されました。設置当初は「沖縄はどこにあるのか」が問い合わせの内容でしたが、最近は「那覇から〇〇まで車で何分？」という具体的な質問に変化しているそうです。また、香港の一部のスーパーには、定番商品として県産品や県産野菜などが陳列されています。沖縄旅行のツアー商品も多く企画されており、これまでになく沖縄の知名度があがっています。香港事務所では、こうした好機をチャンスにと積極的に活動を行っています。

沖縄の認知度拡大中  
香港事務所



福州事務所メンバー



福建・沖縄友好会館での講演会



アジアへ、そしてアジアから  
沖縄県海外事務所の取り組み

グローバル化が進む中、めざましい経済発展が続くアジア各国へのビジネス展開を考えている沖縄の企業の皆さまをサポートしています。

企業の海外進出をサポート

財団法人沖縄県産業振興公社では、台北、福州、香港、上海に海外事務所を設置しています。各事務所では、経済貿易情報の収集・提供、県産品の販路拡大に関する支援、観光客誘致のための現地の航空会社・旅行社などへの営業活動など、沖縄のPRと県内企業の海外進出を支援しています。

観光と物産、文化の融合を  
台北事務所

平成二年、地理的に最も近い台湾に、沖縄県が当時の社団法人沖縄県物産振興会と協力して初めて海外事務所を設置しました。以来、経済、文化、学術とさまざまな形で交流が行われています。現在は、財団法人沖縄県産業振興公社と、財団法人沖縄観光コンベンションビューローの事務所が連携して、企業の皆さまからの各種相談、問い合わせに対応しています。

ビジネスの都市・上海  
上海事務所

経済発展が進む中国の中でも、ビジネスの中心である上海には、日系企業や自治体事務所も多く進出しています。本県でも平成十七年に上海事務所を設置しました。「モノ」の輸入に厳しい中国では、香港、台湾などに比べ県産品の販路拡大に難しい面もありますが、徐々に物産展などの開催回数も増えてきています。上海事務所では、今後ますますの経済交流が期待される中、より多くの沖縄の企業が上海および中国本土に展開することができるよう、活動の範囲を広げています。



上海事務所メンバー



上海万博で沖縄PR

世界に広がるネットワーク

このほか、韓国・ソウルには沖縄観光コンベンションビューローの事務所が設置されています。また、事務所のほか、経済交流の推進をめざして台北、フランス、タイ、シンガポール、中国の北京、成都に委託駐在員を配置しています。駐在員は現地の生の情報を沖縄に届けると同時に、まだまだ知られていない

長い友好関係の歴史  
福州事務所

長い交流の歴史から将来の友好関係の継続を目的に、姉妹県省である中国・福建省福州市に、平成十年、福建・沖縄友好会館が設立されました。その会館内に設置されているのが福州事務所です。会館には、中国での経済活動の拠点として県内の企業が駐在所を設置しており、福州事務所では入居している企業への支援を中心に、国際交流、文化交流に関する活動を行っています。歴史的なつながりの強い中国・福建省と沖縄県ならではの交流の形を構築しています。



台北事務所メンバー



泡盛講習会台湾

います。最近では、沖縄の音楽と観光、物産をコラボレーションさせる『Okinawa Night』や、台北市調酒協会、泡盛マイスター協会と協力しての『泡盛講習会』を開催するなど、観光、物産、文化を融合したこれまでにない新しい形で、沖縄のPRをメンバー一丸となって取り組んでいます。

海外ビジネスの窓口として

グローバル化が進み、海外から沖縄を訪れるお客さまも増える中、国内と同様に、海外との交流を深めていくことが必要不可欠になりつつあります。本年三月に策定した「沖縄21世紀ビジョン」では、成長するアジアと日本との架け橋となる企業の集積、育成をめざしています。琉球王朝時代の先人たちが「世界を結ぶ架け橋」となって、交易を通し国際社会で活躍した歴史に学び、アジアの南海の小さな島しょ県「沖縄」が再び世界を結ぶ拠点となるよう、企業の皆さまの活動を海外事務所がサポートします。



FOOD TAPEI 2010 (台北)



香港旅行博(香港)

海外ビジネスサポートについてのお問い合わせ  
財団法人沖縄県産業振興公社  
海外ビジネス支援課 TEL:098-859-6238  
URL: http://okinawa-ric.jp/kaigai/index.php

お問い合わせ ● 県産業政策課 TEL:098-866-2330 FAX:098-866-2440



沖縄国際アジア音楽祭  
平成23年3月18日～20日開催!



沖縄国際アジア音楽祭  
平成23年3月18日～20日開催!

## 就職に向けた新たな一歩を踏み出そう!

### 「子育てママのパソコン・就職講座」の開催について【八重山地区】

子育てなどの理由でスキルアップの機会が少ない母子家庭の母等を対象に、託児所付きのパソコン講座等を実施します。講座終了後は、1カ月間の職場訓練も併せて実施します。

- ◆受講料: 無料(※職場訓練中は手当の支給あり)
- ◆講座期間: 平成23年1月12日~2月23日(平日30日間)午前10時~午後5時
- ◆講座会場: 石垣IT事業支援センター
- ◆募集締切: 12月15日(水)午後5時まで
- ◇問合せ先: (社)沖縄県母子寡婦福祉連合会 ☎098-887-4099 (URL) <http://www.okiboren.jp/>

### 「建築技能研修」の開催について

県では、社団法人沖縄県建設業協会との共催で、平成22年度建築技能研修(即戦力養成研修)を実施します。

対象者は土木工等従事者や求職中の方で、新たに建築型枠や鉄筋組立の技能を身につけ就労したい方。在職中・失業中を問いません。

- ◆受講料: 無料
- ◆研修期間: 平成23年1月11日(火)~3月4日(金)
- ◆実施場所: 建設会館(浦添市牧港)
- ◇問合せ先: (社)沖縄県建設業協会 ☎098-876-5211

### 「合同就職説明会・面接会」のお知らせ

すべての求職者を対象(年齢不問)に、合同就職説明会・面接会を開催します。参加無料。この説明会・面接会への参加は、失業認定における1回の就職活動の実績になります。

- ◆日時/場所
- 12月4日(土)午後1時半~5時 沖縄市民会館
- 1月15日(土)午後1時半~5時 嘉手納町中央公民館
- 1月21日(金)午後1時半~5時 沖縄市民会館
- 1月29日(土)午後1時半~5時 与那原町社会福祉センター
- ◇問合せ先: 事務局(マッチポイント)まで ☎098-861-2773 (URL) <http://mp-okinawa.jp>

### 一日のタイムスケジュール

- 9:00~12:00 自宅で演奏練習、レッスンの準備
- 13:00~14:00 教室へ出勤、レッスンの段取り確認など
- 14:30~20:00 レッスン(幼児・ジュニア一般など1コマ60分を教回)
- 20:00~20:30 掃除・後片付け後、帰宅

えています。レッスンでは一人ひとりの成長の段階を見て、能力や個性を引き出せるように努力。生徒の発表会、講師同士の勉強会や研修があり、また常に自己研鑽が必要なので多忙ですが、子どもたちが音楽を感じて瞳を輝かせるのを見るのが一番の喜び。子どもたちと一緒に成長できるのがこの仕事の魅力! 私自身も音楽を楽しみながら、音楽の深さを少しずつ伝えていきます。

### 仕事のツボ アドバイス

大学や専門学校で音楽を学び、楽器への幅広い知識があると有利。音楽への情熱と人が好きなことが、求められます。ヤマハ音楽教室の場合は講師資格取得試験(教養・実技)に合格後、レッスンスタート前に半年間の研修を受けます。



### 一日のタイムスケジュール

- 9:00 ライブ会場入り、設営の手配・確認
- 12:00 アーティストの迎え
- 14:00~ リハーサルスタート
- 会場と連絡を取りながら、来場者向けの準備・手配、場内整理
- 18:00~21:00 ライブ本番、進行確認
- 21:30~ 会場設営撤収、打ち上げの予約手配、アーティストの送迎など

テイスとも観客も大切なお客さま。気持ち良くライブを楽しんでもらうため、すべてに気を配ります。アーティストからの指名も大きな喜び。忙しく休日も不規則ですが、好きな音楽の仕事で演じ手とともに感動を与えられるのは幸せ。沖縄にいても東京と同じレベルやスピードをめざし、常に攻めの姿勢で仕事をしていきます。

### 仕事のツボ アドバイス

学歴や経験は不問ですが、運転免許は必要。音楽が好きでやる気と根性がある人、場の空気が読めて気配りできる人が向いています。スタッフのバイト募集は随時あるので挑戦してみてください。頑張り次第で社員登用のチャンスもあり!



# みんなのインタビュー白書

仕事や職場を決めた理由、やりがいやターニングポイントなど、同じジャンルで職種が違う二人の先輩が仕事の本音を語ります。みんな迷って悩んで今がある! 就活世代に役立つヒントがいっぱいです。



## 音楽に携わるシゴト

### 音楽講師とコンサートプロモーター

今回は音楽の分野で働く二人。どちらも「音楽が好き」という熱い気持ちで音楽の楽しさや素晴らしさを伝えていました。

- その他の「音楽に携わるシゴト」
- ・レコード会社
  - ・スタジオスタッフ
  - ・プロダクション など

### 音楽講師



文教楽器 ヤマハ音楽教室 システム講師 大城麻子さん(勤続4年目・30歳)

### 音楽の楽しさを知った生徒時代が原点

実は、私も三歳からヤマハの生徒で、みんなと一緒に学ぶグループレッスンで音楽の楽しさにめざめ、ピアノに夢中になりました。大学は本土の音大へと進学。フランス音楽に興味をもち、留学を決意。パリの音楽院に進学し、厳しいレッスン

に耐えてディプロム(免状)を取得。練習の合間に観たバレエ、オペラ、絵画に触れた経験が演奏だけでなく、今の指導にも生かされています。

### 好きな「音楽」を仕事にできる喜び

鍵盤技術だけでなく、みんなで歌を歌ったり、体全体でリズムを感じさせる指導に惹かれて、ヤマハで音楽を教

### コンサートプロモーター



ピーエムエージェンシー 高安洋士さん(勤続8年目・28歳)

### 演じる側から音楽をサポートする側へ

元々音楽が好きでバンド活動を中、その道で食べて行きたいと高校を中退。十六歳でコンサートスタッフのバイトを始めました。負けず嫌いの性格から「早く一人前になりたい!」と仕事に励み、次第に現場を任せられて仕事がおもしろくなってきました。

### 音楽が好きだから続けられる仕事

沖縄でのライブを任せてくれるア



# 平成22年度 沖縄県功労者表彰式

県は、11月3日、平成22年度沖縄県功労者表彰式を那覇市内のホテルで開催し、受賞者の親族や関係者など多数の出席の下、各部門で功績のあった11人の方々に仲井真知事から表彰状と功労賞を贈呈しました。

**社会福祉部門**  
のほらゆきこ  
野原 幸子氏 (76歳)  
永年にわたり交通安全協会などの要職を歴任し、交通安全運動のリーダーとして交通マナーの普及啓発や創意工夫を凝らした交通安全活動を通じて、沖縄県の交通事故の防止に貢献した。

**社会福祉部門**  
たいら がけい  
平良 賀計氏 (87歳)  
沖縄県における精神科医療の先駆的存在として、精神障害者の治療対策ならびに知的障害児の教育福祉対策に尽力した。また、沖縄県精神科病院協会の会長として、精神衛生事業の推進および発展に貢献した。

**社会福祉部門**  
よぎ ちよこ  
與儀 千代子氏 (79歳)  
永年にわたり臨床看護の第一線で活躍する傍ら、看護職員の確保や看護教員の養成および医療看護の環境整備に尽力した。また、沖縄看護協会の大任を歴任し、沖縄県の保健医療の発展に貢献した。

**産業経済部門**  
こくぼ こういちろう  
國場 幸一郎氏 (77歳)  
永年にわたり社会資本の整備に尽力したほか、人材育成や機械化工法の普及など建設業の近代化に尽力した。また、沖縄のリゾートホテルの先駆けとなるホテルムーンビーチを設立するなど、沖縄県の観光および産業の振興に貢献した。

**産業経済部門**  
ほかま せいけん  
外間 政憲氏 (79歳)  
沖縄県における印刷事業者の組織化に取り組み、業界の経営安定と向上に尽力した。また、沖縄県中小企業団体中央会および沖縄県工業連合会において要職を歴任し、沖縄県の産業振興に貢献した。

**産業振興部門**  
あら てつじ  
新 哲次氏 (88歳)  
みんさーウェアなどの現代的感覚を新に取り入れた商品の開発販売を行い、沖縄県の伝統工芸品である八重山ミンサーの普及拡大と後継者育成に尽力し、沖縄県の産業振興に貢献した。

**地方自治部門**  
かみやま みさお  
神山 操氏 (76歳)  
永年にわたり沖縄県地方労働委員会労働者委員として労使紛争の予防や解決に尽力し、労使関係の安定化および健全化に献身的に取り組んだ。また、沖縄県労働組合協議会や日本労働組合総連合会沖縄県連合会の要職を歴任するなど沖縄県の労働行政と経済の発展に貢献した。

**教育部門**  
せきね  
関根 サク氏 (79歳)  
永年にわたり幼児教育の第一線で活躍する傍ら、幼児期の3年保育の推進に熱意を注ぎ、私立幼稚園教育の普及に取り組んだ。また、沖縄県私立幼稚園連合会の要職を歴任し、沖縄県の幼児教育および私立幼稚園の発展に貢献した。

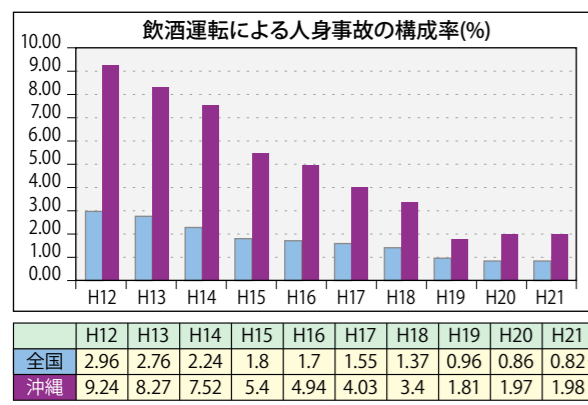
**文化部門**  
たまき まさやす  
玉城 正保氏 (86歳)  
永年にわたる東京での機関誌発行などの活動を通じて沖縄の情報発信に努める傍ら、県外および海外において琉球舞踊、組踊、空手などの沖縄芸能公演を開催し、沖縄県の観光および産業の振興に貢献した。

**文化部門**  
なかた さちこ  
仲田 幸子氏 (77歳)  
永年にわたり喜劇の女王として広く親しまれ、時代を反映した人情味あふれる芝居で、県民に笑いと活力を与えた。また、後進の指導育成に尽力するとともに、沖縄芝居の継承と発展に努め、沖縄県の伝統芸能の振興に貢献した。

**体育・スポーツ部門**  
なかもと こうしん  
仲本 興真氏 (77歳)  
永年にわたり沖縄民謡の創作と普及に努める傍ら、レクリエーション協会やフォークダンス連盟を結成し、指導者の養成と県民の生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の振興に貢献した。



10月に開催された飲酒運転根絶県民大会の様子



**飲酒運転の状況**  
昨年の県内における飲酒絡みの死亡事故は十三件で、全死亡事故に占める割合は二十八%。十五年連続全国ワーストワンという不名誉な記録が続いています。また、飲酒運転で検挙された人は約千七百人で、人口千人当たりでは全国平均の約四倍となっています。  
今年の十月二十六日現在で、飲酒運転の検挙件数は千五百八十八件で、昨年より二百六十件約二十%増加しており、憂慮すべき状況です。

**「飲酒運転をしないさせない許さない」**  
**「沖縄県飲酒運転根絶条例」施行一周年**  
毎月一日は「飲酒運転根絶運動の日」です。家庭、職場や地域など県民総ぐるみの取り組みで、飲酒運転ゼロをめざしましょう！

**飲酒運転根絶に向けて**  
道路交通法では、昨年の六月から飲酒運転に関する行政処分が強化されています。飲酒運転は、被害者を生むだけでなく、加害者にとっても仕事や生活に非常に大きな困難を抱えることとなります。また、昨年施行された「沖縄県飲酒運転根絶

※1単位=純アルコール20gを含む酒量

500ml ビール アルコール度 5%	小グラス2杯 200ml ワイン アルコール度 12%	コップ半分 100ml 泡盛 アルコール度 25%
------------------------	--------------------------------	------------------------------

出典：(社)日本損害保険協会「飲酒運転防止マニュアル」

**アルコールが与える影響**  
県内において飲酒運転で検挙された人の約五人に一人が午前六時から午前十時の時間帯であるというデータから、二日酔いでも飲酒運転になることや体内でのアルコールの処理時間など、アルコールが与える影響について十分知られていないことがうかがえます。  
酒との正しい付き合い方について、その家族をはじめ周囲の方々も正しく理解する必要があります。

アルコールの処理時間  
純アルコールを二十グラム含む酒量は一単位(左図参照)です。アルコール一単位を処理する時間は、体重六十キログラムの人で、約四時間かかります。

**交通事故でお困りの方は**  
**沖縄県交通事故相談所へ**  
(本所)県南合同庁舎五階  
☎〇九八-八六六-二一八五  
(中部支所)県中部合同庁舎四階  
☎〇九八-九三九-七五二二  
相談日 月・金曜日(祝日を除く)  
相談時間 午前八時半～午後五時十五分  
※相談は無料です。

**飲酒運転に関する違反行為の点数・処分内容等**

状態	酒酔い運転		酒気帯び運転	
	アルコールの影響で正常な運転ができないおそれのある状態	呼気1ℓ中アルコール0.25mg以上	呼気1ℓ中アルコール0.15mg以上0.25mg未満	呼気1ℓ中アルコール0.15mg未満
処分内容	免許の取消	免許の取消	免許の停止	
点数	35点	25点	13点	
罰則	5年以下の懲役または100万円以下の罰金	3年以下の懲役または50万円以下の罰金		

条例では、県民、事業者、飲食店営業者等に飲酒運転根絶に向けた取り組みを求めています。  
交通事故のない安全で安心して生活できる沖縄県にするため、私たち一人ひとりが「飲酒運転をしないさせない許さない」という強い意志で行動し、家庭・職場・地域など社会全体で飲酒運転根絶気運を盛り上げていきましょう。

各施設行事予定表

県立博物館・美術館

☆休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)

☎098-941-8200

◆バックヤードツアー

開催日：12月4日(土)  
美術館：午前11時～正午  
博物館：午後2時～3時

定員：先着各12人(受付午前9時～)  
参加費：無料

博物館

◆企画展「アイヌ～美を求める心～」

日時：12月3日(金)～平成23年1月10日(月)  
入場料：一般300円、高校生・大学生200円、  
小・中学生100円

◆企画展

「掘り出された琉球王国のグスク及び関連遺産群」  
期間：12月7日(火)～26日(日)  
入場料：無料

美術館

◆企画展「母たちの神—比嘉康雄」展

期間：11月2日(火)～平成23年1月5日(水)  
入場料：大人1,000円、高校生・大学生700円、  
小・中学生300円

県平和祈念資料館

☎098-997-3844

◆沖縄戦講座

～沖縄戦の実相・継承・発信～

日時：12月11日(土)午後2時～4時15分  
講師：大城将保氏  
定員：120人  
備考：入場無料



12月 放送予定

- 4日・5日 沖縄県におけるちゅうさん運動の取り組みについて
- 11日・12日 飲運連根絶キャンペーン
- 18日・19日 外国人観光客を呼ぼう！～インバウンド強化年～
- 25日・26日 平和を願う「沖縄の心」を世界へ～第5回沖縄平和賞授賞式～

テレビ放送時間 RBC 6:15 QAB 25:55 OTV 6:45

詳しくは沖縄県ホームページへ <http://www.pref.okinawa.jp/> トップページ▶広報・広聴について▶広報誌、テレビ番組等

県広報課 〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020 FAX.098-866-2467 kouhou@pref.okinawa.lg.jp

県広報課からのお知らせ

ラジオ県民室

お昼のひととき、県が実施する行事や募集のお知らせなどを行っています。

放送時間/毎週月曜日～金曜日

ラジオ沖縄 (864kHz) 11:50～11:55  
RBCラジオ (738kHz) 11:55～12:00  
F M 沖縄 (87.3MHz) 12:55～13:00

ご意見・ご提言 県政に対するご意見・ご提言をEメール、FAX、手紙などで募集しています。  
あて先 県民ご意見箱、知事へのたより  
※記入様式などは、ホームページをご覧ください。



12月 DECEMBER

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2011年1月 JANUARY

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

イベント

障害者週間の集い

- 日時 12月5日(日)午後1時半～4時
- 場所 沖縄県市町村自治会館
- 内容 向野幾世氏講演会、大城友弥氏ミニライブなど
- 備考 入場無料
- 問合せ 県障害保健福祉課  
☎098-8666-2190

ファミリーサポートセンター研修会

- 日時 12月5日(日)午後2時～4時
- 場所 カルチャーリゾートフェストーネ(旧沖縄ハイツ)
- 内容 頑張り過ぎない楽しい子育て講演会
- 講師 高野優氏(育児漫画家)
- 定員 150人(入場無料・要申込)
- 問合せ 県雇用労政課  
☎098-8666-2366

沖縄ロゲイニング名護大会

- 日時 平成23年2月5日(土)・6日(日)
- 場所 名護市地域
- 定員 150組
- 募集締切 平成23年1月21日(金)
- 問合せ NPOホールアース研究所沖縄事務所  
☎0980-58-3536

☎098-8666-2134  
県税務課  
☎098-8666-2101

公共交通活性化のP1実施

- 実施期間 11月29日(月)～12月28日(火)
- 内容 バスレーン延長や公共交通活性化のための情報提供および意見募集
- 対象者 18歳以上の県民、事業者、那覇市・浦添市・宜野湾市・沖縄市の児童、生徒(小学校4年生～高校生)
- 問合せ 県交通政策課  
☎098-8666-2045

粟国空港整備計画について

- 県と粟国村は、粟国空港の整備計画案について、県民皆さまの意見を募集します。
- 実施期間 11月29日(月)～翌年1月7日(金)
- 問合せ 県空港課  
☎098-8666-2400

試験

病院事業局看護師採用試験

- 試験日 平成23年1月15日(土)
- 受験資格 募集要項を参照
- 募集締切 12月10日(金)まで
- 問合せ 県病院事業局県立病院課  
☎098-8666-2832

消防設備士試験

- 試験日 平成23年2月6日(日)
- 試験場所 宜野湾市、宮古島市、石垣市
- 願書受付 12月10日(金)～17日(金)
- 問合せ (財)消防試験研究センター沖縄支部  
☎098-941-5201

自治医科大学入学試験

- 第1次試験日 平成23年1月24日・25日
- 場所 サザンプラザ海邦(那覇市)
- 第2次試験日 平成23年2月3日(木)
- 場所 自治医科大学(栃木県)
- 受験資格 高等学校を卒業した者および平成23年3月卒業見込みの者、またはこれと同等以上の学力があると認められる者
- 出願期間 平成23年1月4日(火)～18日(火)

工業統計調査

- 工業統計調査を12月31日現在で実施します。
- 調査期日 12月31日現在
- 調査対象 製造業に属する事業所
- 調査目的 わが国の工業の実態を明らかにし、産業政策、中小企業政策など国や地方公共団体の行政施策のための基礎資料を整備することを目的とする。
- 調査事項 事業所数、従業者数、製造品出荷額、原材料使用額など
- 調査方法 調査票を統計調査員が事業所へ配布し、事業所の管理責任者が記入し、統計調査員が収集する。
- 問合せ 県統計課  
☎098-8666-2050

地デジ機器購入支援します

地デジ機器の購入費用等の一部(最大12,000円)を支援します。

※郵送の場合、1月17日消印有効  
問合せ 県医務課  
☎098-8666-2169

沖縄県准看護師試験

- 試験日 平成23年2月18日(金)
- 場所 県立看護大学
- 願書受付 平成23年1月4日(火)～11日(火)
- ※郵送の場合、1月11日消印有効
- 問合せ 県医務課  
☎098-8666-2169

募集

技術講習・ワードエクセル3級

- 対象者 マウスやキーボード操作が可能な就職を希望する女性
- 期間 平成23年1月6日～2月25日(月)～金(午前9時～午後3時)
- 場所 労政女性就業センター(那覇)
- 申込み 12月13日・14日(来所申込み)
- 定員 20人(後日筆記・面接あり)
- 受講料 無料(教材費など自己負担あり)
- 問合せ 県労政・女性就業センター  
☎098-8663-1788

県附属機関委員の募集

県が発注する建設工事の入札および契約について関心を持ち、年に数回開催される委員会で積極的に意見を述べたい方だけの委員を募集します。

- 募集人数 2人
- 募集締切 12月17日(金)
- 問合せ 県土木企画課  
☎098-8666-2384

ホストファミリー募集

- 受入期間 平成23年1月26日(水)～2月5日(土) ※10泊11日予定
- ゲスト対象者 海外県系人子弟で

満13歳から25歳の生徒(中学生、高校生、大学生)  
費用負担 ゲストのホームステイにかかる滞在費(県補助あり)  
募集締切 12月27日(月)  
問合せ 県交流推進課  
☎098-8666-2479

記念貨幣の題材募集

平成24年に発行される沖縄復帰40周年記念貨幣のデザインの題材について意見を募集します。

- 募集締切 12月28日(火)
- 応募方法 郵送・FAX・Eメールなど
- 問合せ 県企画調整課  
☎098-8666-2026

絵画コンクール作品募集

- 募集テーマ 「こんなふうになったらいいな」基地跡地に描く未来の沖縄
- 応募資格 県内小・中学校に属する児童・生徒
- 募集期間 11月29日(月)～翌年1月14日(金)
- 問合せ 県企画調整課  
☎098-8666-2108

お知らせ

滞納整理強化月間

11月と12月は「県税・市町村税滞納整理強化月間」です。期間中、沖縄県と県内市町村は、連携して全県一斉に滞納処分を集中的に実施します。催告しても県税および市町村税を納めていただけない悪質滞納者に対し、タイヤロックなどの滞納処分を行います。納税は国民の義務です。納め忘れの場合は早めの納付をお願いします。  
問合せ 県市町村課



# 女性たちのネットワークで広がる大宜味の魅力



子どもたちの未来につながる村づくりを!

修学旅行生の受け入れも増加中!

「おいしい」の声が大きな励みです!

誰でも気軽に仲間入りできますよ!

左から、宮城久美子さん、大城君代さん、新城喜代美さん、宮城久子さん



修学旅行生の受け入れは、農家の皆さんの張り合いにもなっています



大宜味の自然を感じられるエコツーリズムも好評



耕作放棄地を活用したソバ畑



大宜味産シークワーサーを使ったお土産



女性たちの好奇心とネットワークで大きく広がる大宜味の魅力・可能性

NPO法人おおきみまるごとツーリズム協会

## 人・モノ・文化 地域物語

# つながる広がる

### 大宜味をまるごと楽しむ 体験プログラム

長寿や芭蕉布、ぶながやの里として知られる大宜味村では、農山漁村振興として特産物のシークワーサーのイメージアップやグリーン・ツーリズム事業に取り組んできました。

「事業終了後、大宜味のグリーン・ツーリズムが近隣の東村や国頭村ほど育っていないことに焦りを感じました」と話す大宜味村農業委員会の宮城久美子係長。村の新しい観光資源開発のため、農家や民宿を営む個人、地元婦人会や老人会、農山漁村生活研究会と連携して、「大宜味をまるごと楽しむエコツーリズム」へと考え方を広げ、三年前に「NPOおおきみまるごとツーリズム協会」を発足。「ひととふれあう」「伝統をつなぐ」「恵みをいただく」「おおきみを歩く」のキーワードの下、農家の暮らしや喜如嘉の芭蕉布、塩屋湾のシークワーサーなどを体験するプログラムを開発・提供しています。

### 村内を有機的につなぐ 役割として

同協会事務局の大城君代さんは、これまでの仕事で培った人脈を生か

いけれど、ゆんたくを楽しみながら営業を担当中!」と楽しそう。「まずはやってみよう!」を合言葉に、特産物のシークワーサーを使った新しいお土産づくりに取り組んでいます。

### 各字の魅力を掘り起こして 新しいプログラムに

平成二十一年からは耕作放棄地の解消として、国頭マージの酸性土壌を生かしたソバの栽培を開始。香りの強い大宜味産ソバ粉を使った村おこしにも期待がふくらみます。

民泊で修学旅行生を受け入れた農家からは「生徒たちが孫のようにかわいくて、毎日に張り合いができた」という声も。エコツーリズムが農家の貴重な副収入にもつながっています。

今後は大宜味の新しい食文化の創造や、貴重な蝶や伝統芸能のウングミ(海神祭)など、村内各字の特色ある魅力を生かした体験プログラムの開拓をめざします。「地元に当たり前にあるものが実は宝物になる。今後は資源を商品化する技術や知識を学びたい」と新城さん。元気な女性たちが大宜味の魅力を懸命に輝かせていました。

お問い合わせ  
NPO法人おおきみまるごとツーリズム協会  
電話:0980-443007

して、旅行者の受け入れ窓口を担当。歴史・文化の紹介、民泊や農業体験と老人会・婦人会との橋渡し、農山漁村生活研究会に地元のお土産や食文化のサポートを依頼するなどコーディネートを行っています。

「NPOは行政より制約が少ないので、思う存分活動できるのが魅力」と意欲満々。事務局が得意、取材や問い合わせを個々で受けていた農家のお年寄りの負担も減りました。宮城係長も、「業務に壁を作らずに柔軟に対応できる民間なら、ビジネスチャンスも増やせる」と喜びます。

### 適材適所の「ウーマンパワー」で大宜味を活性化

主婦を中心とした農山漁村生活研究会では、地元のシークワーサーを使った特産品を開発中。シークワーサー活用コンクールでは、平成二十年度の「シークワーサーみつ」に続き、昨年度はシークワーサーを皮ごとつぶして砂糖に漬けた「まるごとたつぷらかし」が大賞を受賞。商品化を検討中です。

「メンバーのがんばりに刺激を受けて積極的になった。地域の先輩の知恵を学んだり、幅広い年代の仲間とものづくりをできるのが楽しい」と笑顔で話す事務局長の新城喜代美さん。前会長の宮城久子さんは、「料理はできない

### 編集後記

風が冷たくなって、やっと沖縄も冬の気配。冬と言えば、「鍋!」ということで、同期女子メンバーで鍋会を開催しました。新人の頃は、女子が集まれば恋バナトークが中心でしたが、今ではすっかり家族の話題が中心。年を取ったなあと思わず感じてしまいました。(momo)

毎月1日は 飲酒運転根絶運動の日。です。「飲酒運転をしない、させない、許さない」環境づくりに努め、交通事故のない安全で安心な県民生活を実現しましょう!(本誌13頁参照)(パタパタハシル)

沖縄県広報誌  
平成22年12月1日発行第34巻12号通巻423号

## 美ら島沖縄

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課  
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2  
TEL.098-866-2020

●表紙 写真・島袋常貴  
●表紙 撮影協力・那覇市立古蔵小学校、沖縄県エコ事業協同組合 <http://www.eco-kumiai.com>

### アンケート

「美ら島沖縄」の感想をお聞かせください。

パソコンはこちら

<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>



沖繩國際アジア音楽祭  
平成23年3月18日~20日開催!



沖繩國際アジア音楽祭  
平成23年3月18日~20日開催!